

800 M	700 M	100 M	700 M	100 M	300 M	200 M	400 M	200 M	0 M	0 M	1700 M	10 M	290 M
甲斐岩間駅	定林寺	月見橋	西嶋諏訪神社	廣禪院	青原院	栄宝寺	若宮八幡社	山十製紙	なかとみ現代工芸美術館	なかとみ和紙の里	かみんぐ西嶋	香港堂	甲斐岩間駅

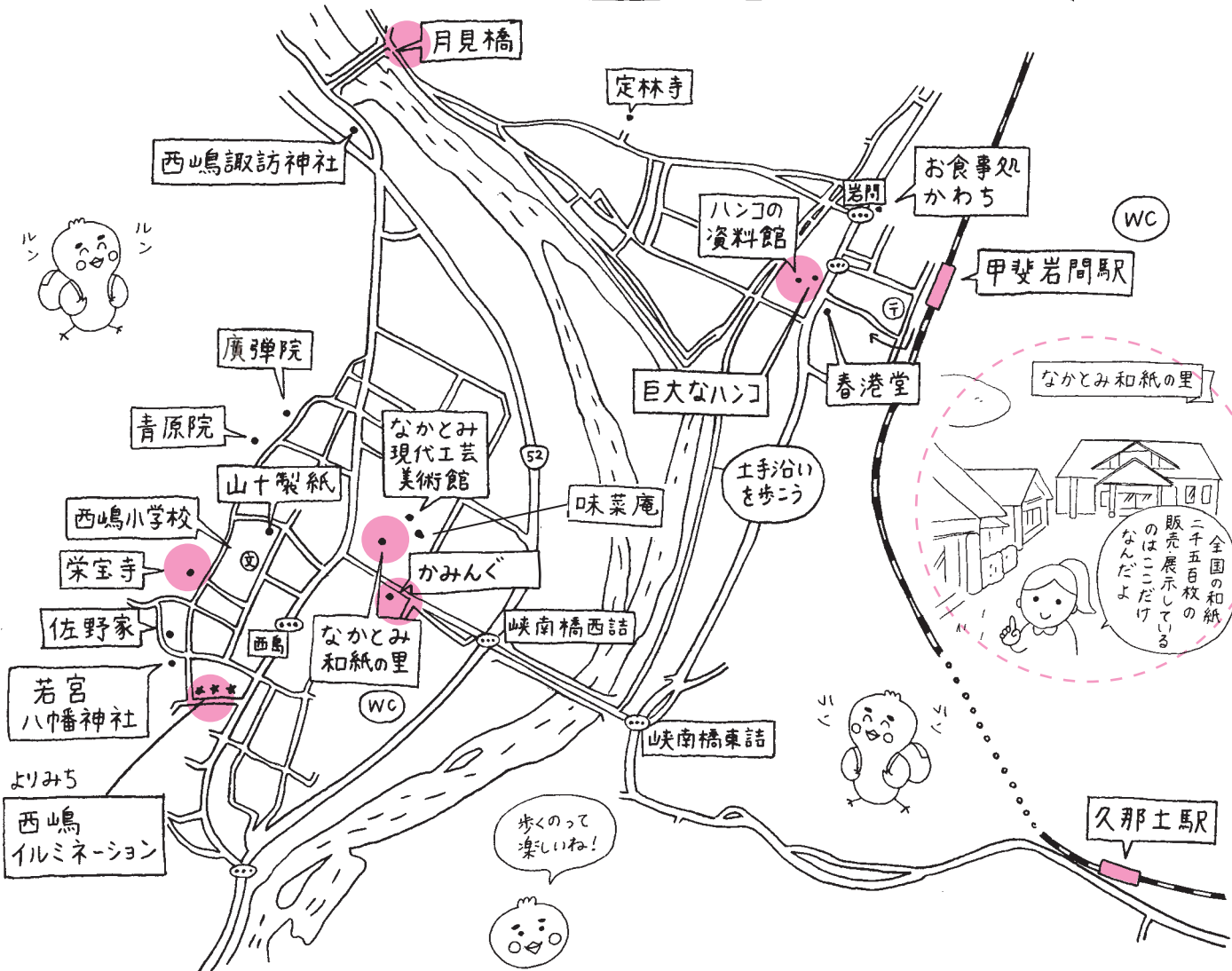
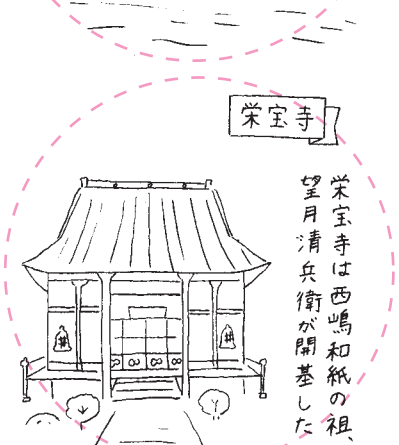
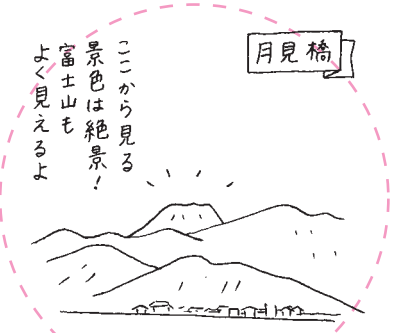
5.5 km コース

駅から JRみなのぶ線
フットパスマップ

みのぶらり

甲斐岩間駅 ↔ 甲斐岩間駅
5.5 km コース

07





みのぶらり

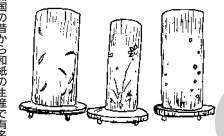
甲斐岩間駅 ↔ 甲斐岩間駅
5.5 km コース

07

身延町フットパス
ガイドブック片手に
みのぶらり

(掲載されている記事は、内容見本です。)

全国各地特産和紙の
展示販売があるのは、
日本広しと言えども
「和紙の里」だけである。



01



西嶋は徳島の備前和紙の生産地でもあります。全国の和紙は、三五五番類以上を展示販売している。和紙の里の手紙は、運送送料(うちやかり運送)が手厚く、きます。和紙で卒業証書賞状を作してみませんか。世界に誇る和紙の魅力を体験してみたい。和紙とみ現代工芸作品の各種企画展を行っています。また、味深庵では地元の食材を使ったお食事をご用意。和紙地区の発展のために活用して作った和紙は、和紙の里の和紙です。

富向山青原院もももこの本堂にある
龍は、今にも動き出てきそうです。

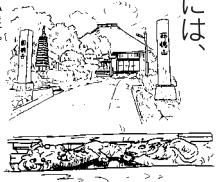


03

青原院(せいげんいん)は、小笠原康長が、元禄15年(1708)に創建した。天文11(1544)年の大火で焼失した。天正10(1582)年に、この寺で、龍を祀る龍門を門と稱ひます。この龍門は、天保11(1840)年に海難した。本堂の正面にも龍門の彫刻が施されています。龍門の彫刻は、龍が舞い出しているように見えます。龍は、今にも動き出てきそうです。龍は、今にも動き出てきそうです。龍は、今にも動き出てきそうです。

円明寺(えんめいじ)七面堂には、
鋭い鑿の跡の残る
龍が彫られている。

04



円明寺の龍門は、海難時の言い伝えか、あまの江町時と伝わる。中興後、加賀藩の真宗宗室の末裔、永徳(三)五六〇年、北条宗茂、新井兼定之進の奥平新井兼定が龍人となり、日蓮宗に改宗し、翌年、龍門院(現身延町)を開山された。円明寺と、現山寺と、は、龍門院の命に由来する。

身延町をみのぶらりする
フットパスマップは
「駅間」マップが8種類。
「駅から」マップが7種類。駅などで無料配布中。

身延町のフットパスガイドブックは
9種類。全部そろえて、ぶらみのぶ!

身延町フットパス
ガイドブック



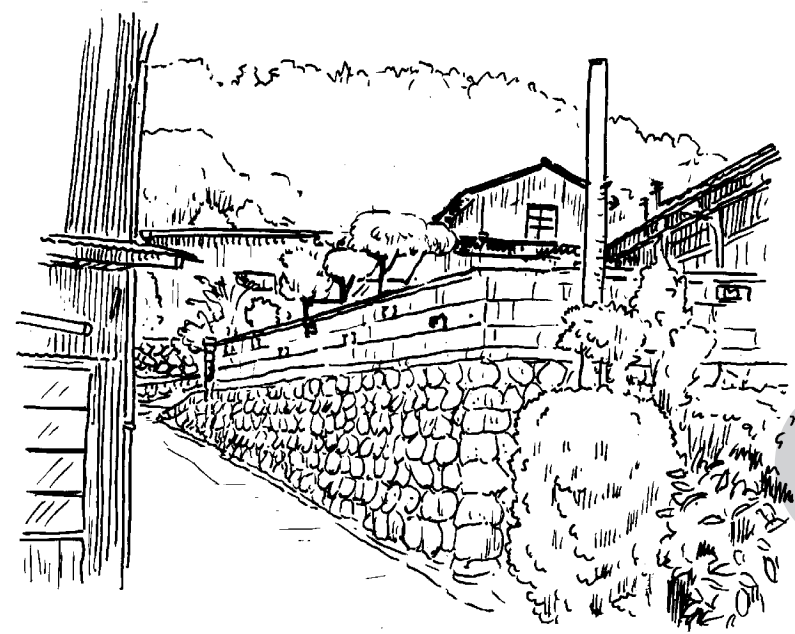
このガイドブックの販売所
身延町内公共機関
山梨県立博物館ショップ
やまなし観光推進機構
朗月堂書店真川店

へー!と驚く話題満載。
県内200種類のコース、完備。
1冊200円(税込)。

・お問い合わせは下記へ。
080-1223-8302(つなぐNPO)

石垣の坂道の風情が
たまらない魅力の
西嶋のまちなみ。

16



西嶋のまちの魅力はなんとといっても坂道。それも石垣の続く坂道でしょう。その道筋に和紙づくりの家々が並んでいます。厚みのある紙床紙しとがみが干された風景、黒塀の倉庫との対比が美しく、そこにどこからともなく小唄が聞こえてきます。大正から昭和にかけての、そんな懐かしい情緒が感じられる道筋を歩きます。

大正ロマンの女流画家・笠井彦乃は、望月将司さんの父と幼馴染みで、望月宅から一軒挟んで隣に住んでいました。この辺りから小学校まで続く石垣の坂道が、今も当時の風情を伝えていきます。彦乃たちが学校に通う姿や遊ぶ姿が、目に浮かんできそうです。

25 24